


ひだまり

 暖心苑

経営理念

- 一. 暖かい心と笑顔で、利用者の立場に立ったサービスを提供します。
- 一. 暖かい心と笑顔で、生きがいのある安心した生活が送れるよう支援します。
- 一. 地域との連携により、熟年者等の福祉・健康づくりを推進します。
- 一. 専門的な知識と技術をもった職員を育成します。

2008年(平成20年)7月14日発行 第33号

〒134-8625 東京都江戸川区北葛西4-3-16 暖心苑



開設20周年式典

「みなさまに支えられて二十年」
社会福祉法人 東京清音会
理事長 妹尾式子

去る四月二十六日(土) 多田正見江
戸川区長をはじめ多くのご来賓の方
々のご臨席のもと、利用者の皆様と共
に暖心苑開設二十周年記念式典並びに祝
賀会を開催いたしました。

皆様の心温まるご祝辞・ご挨拶に感無
量で、いかに多くの方々を支えられて
今日があるのかということを実感いた
しました。ご利用者やご家族の方々の
笑顔に支えられ、行政・地域関係者は
じめボランティアの皆様に支えられ今
まで無事に、そして職員も頑張つて来
られたことに心から感謝申し上げます。
江戸川区に、そしてこの宇喜田の
地に暖心苑を創ることが出来たことに
今更ながら中里前区長はじめ開設当時
の関係者の皆様にも謝意を表したいと
思います。

この二十年の節目の年に改めて青山
初音前理事長の熟年者福祉への信念を
思い起こしながらも、今後法人・施設
に求められる使命・役割・期待に応え
られるような基盤づくりと・どのよう
な状況にも対応できる柔軟な発想・姿
勢が必要であり、取り組むべき課題で
あると考えております。

皆様にはこれからも倍旧のご支援・
ご協力の程よろしくお願い申し上げま
す。

施設長就任挨拶

特別養護老人ホーム暖心苑
施設長 関口 浩太郎

私は、二十数年病院でリハビリテーションの臨床業務に従事していました。また十五年ほど前から、暖心苑機能訓練部門のお手伝いもさせて頂いておりましたが、此の程思いがけなくも西秋前施設長退任の後を受け、施設長職を拝命することとなりました。この重責を全うすべく皆様のご協力を得ながら、一生懸命勉強し利用者様に喜んでいただける施設作りに努力する所存でございます。

私が長く携わってきたリハビリの精神は、身体機能の回復だけでなく人間の尊厳回復を根本とします。これは医療だけでなく、あらゆる弱者に対して手を差し伸べることを意味します。この精神を広めることもしリハビリに携わった者の責務と言えましょう。

さて今年は、当苑も開設二十周年を迎えることとなりました。しかし二十周年はあくまで通過点に過ぎず、次の二十年への新たなスタートでもあります。二十年後の日本は三人に一人がお年寄りという世界の超高齢社会になると言われています。

私達は二十年先を見据えて、この不安と混迷の時代を乗り越えていかなければなりません。歳をとることを私達自身の問題として捉え、共に考え行動してゆくことが、未来の私たちの幸せに繋がっていきます。この『暖心苑』で暖かい心をもつて精一杯利用者様のお世話をし、その尊厳を守ることに、私たちが安心して歳をとれる社会を作る第一歩となるはずです。

暖心苑は民間の施設ではありませんが、その役割は公器であり地域の福祉のために開かれた施設です。地域の皆様にも是非お気軽に足を運んでいただき、共に手を携え二十年後の明るい社会創りに参画して頂きたいと思っています。

最後に私の好きな言葉『一隅を照らす、これ国の宝なり』もつて施設長就任の挨拶とさせていただきます。



暖心苑執務室にて 関口施設長

平成十九年度事業報告概要

経営理念に沿った、具体的なサービス提供について、次に掲げる基本（経営方針）に基づいてサービス提供を実施した。

一 利用者サービスの質の向上

利用者一人ひとりのニーズと意思及び人格を尊重し、その有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう努めるとともに、生きがいの持てる安心した生活が送れるよう支援した。

二 地域と家庭との連携強化

熟年者福祉の中核施設との自覚を持ち、行政・保健・医療などの関係機関と相互に協力・連携を強化し、地域福祉の推進に努めた。また、明るく家庭的な雰囲気有し、地域や家庭との結びつきを重視した施設運営を行うよう努めた。

三 人材育成及び専門性の向上

多様なニーズに応え利用者信頼される職員の育成に努め、質の高いサービスを提供できるよう施設内外での研修や職員教育により専門性を図った。

四 経営の透明化

情報公開を積極的に行い、法人・施設の事業経営に対する信頼と理解を得られるよう努めた。

五 経営基盤の確立・強化

質の高い総合的なサービスを継続的に提供していくために、事業経営の安定化に努めるとともに、介護報酬等による経営基盤の強化・確立を図った。

平成十九年度 事業の概要

事業経営の安定化へ向けての経営基盤の確立・強化

平成十九年度の経営実績については、特養ホーム事業が常勤医師から非常勤医師への転換による入院者の増加を見込み、利用率を若干下げた目標値を設定したが、非常勤医師一名の退職があつたものの、新規の加算取得や退所される利用者が例年に比べ少なくなつたこと、また、待機者の早期入所等により当初の目標は達成出来た。シヨートステイ・デイサービス事業については、前年度を上回る目標値等により当初の目標を達成することが出来た。収支差額は、介護業界全般に渡る人材確保困難により、退職者の補充が出来なかつたことによる人件費率の減少はあつたが、経年劣化による修繕費用の増大により前年度より減少した。

十九年度より加算した加算項目
精神科医の再配置および体制の整備により算定した加算項目は、次のとおりである。

十九年度取得の加算項目

事業区分	加算項目	加算単位
介護老人福祉施設	精神科医療養指導加算 経口維持加算（誤嚥が認められる者）	5単位/日 5単位/日

地域包括支援センターの取扱い件数
「地域包括支援センター」事業について、介護予防事業、地域支援事業及び介護予防給付の取扱い件数は次のとおりである。

事業 (主な事業)	十九年度 計画数	十九年度 実績
1 介護予防事業		
特定高齢者の選定	一〇〇件	一二二件
2 地域支援事業等		
介護予防ケアマネジ メント事業	三五	二四
総合相談事業	二〇〇一	一八七五
権利擁護事業	二〇	七二
包括的・継続的ケア マネジメント事業	五三	一六三
介護者交流事業	六	五
3 介護予防ケアプラン 作成(センター)	三二六五	二五〇八

介護予防事業の拡充
十九年度から認定要件の緩和見直しにより、介護予防の対象者である特定高齢者の増加があり、介護予防事業の拡充が図れた。
ア 介護予防通所介護・介護予防認知症の対応型通所介護(要支援1・2)
介護認定区分「要支援1」「要支援2」と認定された高齢者に対して、要介護状態に移行するのをできるだけ防ぎ、自立に向けた生活を送れるように支援するための介護予防サービス(予防給付)を実施した。
イ 地域支援事業(介護予防特定高齢者サービス: 区委託事業)
熟年健診などをもとに地域包括支援センターが選定した要支援・要介護状態になる可能性が他の高齢者に比べ高いと考えられる「特定高齢者」を対象として、運動器の機能向上(ストレッチ・筋力トレーニングなどの運動指導)などの介護予防サービスを実施した。

利用者サービスの向上
ア(1) 利用者の安全対策
事故防止対策として「事故発生防止及び、発生時の対応指針」に基づき安全対策委員会メンバーが核となり関係職種の職員が連携して、職員への周知徹底・教育を図った。
イ 感染症管理対策の実施
「施設内の集団生活の場での感染症(インフルエンザ・ノロウイルスによる感染性胃腸炎・疥癬・食中毒等)の予防及びまん延の防止のための指針」およびマニュアルに基づき、感染症対策委員会メンバーが核となり関係職種の職員が連携して、感染症の予防に努め、疥癬二人の発症だけで他の感染症の発症は予防できた。
ウ 身体拘束廃止への取り組み
「身体拘束廃止の基本方針」に基づいて、緊急やむを得ない場合を除いて身体拘束をしないための取り組みを安全対策委員会メンバーが核となり関係職種の職員が連携して実施した。
ア(2) 利用者の重度化への対応
当初の非常勤医師四名による週五日の診療体制から非常勤医師一名の退職に伴い週四日診療体制に変更したが、看護職員の夜勤による二十四時間の看護体制の確保のほか、必要に応じて協力病院・近隣の各病院に受診し、診断・治療を行った為、特に影響は見られなかつた。

期間	医師の診療体制
平成一九年 四月	非常勤医師四名(内一名精神科医)
平成一九年 八月	非常勤医師三名(内一名精神科医)

イ「看取り介護の実施
「看取り介護に関する指針」に基づき、利用者本人の意思及び家族の意向を最大限に尊重して看取り介護を行い医師・看護職員・介護職員等の他職種協働体制のもとで最期の時まで穏やかに過ごしていただくよう援助した。十九年度の看取りケア計画作成者は四名であった。

ウ「褥瘡予防への対応
「褥瘡対策指針」に基づいて、早期の褥瘡・皮むけ発見への理解を深めた。十九年度の褥瘡発症者は三名であった。

経営の透明化及び情報公開

(1) 第三者評価の実施
平成十九年度から義務化された「福祉サービス第三者評価」を都からの補助金を受けて、評価機関「NPO福祉経営ネットワーク」に依頼し平成十九年七月～平成二十年二月にかけて実施し「とつきよう福祉ナビゲーション」に平成二十年三月に公開した。

「審査事業所」
・社会福祉老人福祉施設（特別養護老人ホーム 暖心苑）

(2) 介護サービス情報の公開
今年度も介護サービス事業者に毎年一回、事業所に関する「施設運営や提供するサービス内容等」の各種の情報の公表が義務付けられたことを受けて調査機関「有会社シンフォニーズ」に平成十九年八月に調査を受け、この制度に基づき、東京都指定情報公開センターが十九年九月からインターネット上で公開した。

「調査対象事業所」
・社会福祉老人福祉施設（特別養護老人ホーム 暖心苑）
・通所介護施設（暖心苑 デイサービスセンター）
・居宅介護支援事業所（暖心苑さわやか相談室指定居宅介護支援事業所）
「公開された内容」
・基本情報
名称・所在地、利用料金、職員体制など基本的な事実情報で、事業所が報告した情報がそのまま公表
介護サービスの内容や提供事業所の運営状況などの情報

調査情報

・調査情報
名称・所在地、利用料金、職員体制など基本的な事実情報で、事業所が報告した情報がそのまま公表
介護サービスの内容や提供事業所の運営状況などの情報

地域との連携強化
(1) 地域支援ネットワーク事業の推進

地域行政機関・団体及び地域住民等の多様な社会資源と協働しながら、地域の実情に応じた総合的な介護予防・支援合いを実践するため、地域包括支援センターを核とした地域支援ネットワーク事業を実施した。

介護者予防教室の開催 四回
介護者交流教室の開催 五回
地域交流委員会の開催 一〇回
民生委員との懇談会 一回
サービス事業者情報交換会 二回

(2) ボランティア・見学者・実習生等の受入れ
地域に開かれた施設として、ボランティア活動 小学生・園児等の体験学習等 養成校等の実習生の受入れについて積極的に実施した。
十九年度ボランティア活動等の状況

ボランティア活動	訪問・体験学習 ・見学	養成校等の 実習
・個人 ・各種団体 グループ 活動	・保育園児・幼稚園児・小学生・その他団体の訪問・修学旅行生の体験学習	・専門学校等の実習 ・ヘルパー養成校の実習
延べ活動人員 三三三〇人	延べ訪問等人員 785人	延べ実習人員 五校三四七人

人材育成・専門性の向上
職場内の人材育成と職員の介護技術・専門知識の向上を図るため、施設内研修及び施設外専門研修を、次のとおり実施した。

研修種別	回数・参加 延べ人数	研修内容 (テーマ)
施設内 研修	三六回 延べ 二六八人	・新任職員研修・高齢者虐待防止法・リスクマネジメント・排泄介助・感染症対策・褥瘡予防・腰痛予防
外部 研修	八五回 延べ 一六一人	・階層別職員研修・管理者研修・労務・退職共済制度・ボランティア・人事・会計・認知症介護

開設二十周年記念事業の実施
開設二十周年をむかえるにあたり、周年事業として次のとおり企画・実施した。

(1) 開設二十周年記念誌の発行
「文章は少なく、暖かく、やさしいイメージで感謝の気持ちがかかる記念誌」をコンセプトに編集・作成（平成二十年三月三十一日発行）

暖心苑開設20周年記念式典 祝賀会

平成20年4月26日(土) 1階ホールにおいて、暖心苑開設20周年記念式典並びに祝賀会を開催いたしました。

昼の部では、利用者の皆様をはじめ、ご来賓として多田正見区長様・区関係者様・ボランティア様・地域関係者様等にご出席いただき、ご祝辞・感謝状贈呈を行いました。また、ゲストに落語家の橘家円藏師匠をお招きしました。

夜の部では、ボランティアの皆様・職員が参加し、感謝状の贈呈及び職員の永年勤続表彰を行いました。

また、ゲストには橘家円藏師匠一門の橘家蔵之助様をお招きしました。

昼の部・夜の部ともに、多くの皆様にご参加いただき、楽しいひと時を過ごすことができました。皆様のご協力により、無事、盛大に記念式典・祝賀会を終えることができましたことを、誌面をお借りして感謝申し上げます。

多田正見区長様
祝 辞



昼の部



講師・ボランティア様への感謝状贈呈



利用者様代表挨拶
(特養：小林由五郎様)



利用者様代表挨拶
(デイ：石田健様)



妹尾理事長挨拶

20周年記念式典



宇喜田幼稚園 中島敏夫様 祝辞



法人役員代表
望月重吾様挨拶



関口施設長挨拶





記念公演（落語）
橘家圓藏師匠



利用者・ご来賓の皆様



夜の部食事会

夜の部

20周年記念祝賀会



ボランティア代表
堀内敏子様・山口照子様 祝辞



永年勤続職員代表 謝辞



永年勤続表彰



ボランティアの皆様



記念公演 橘家蔵之助様

(2) 紅白梅・金木犀の記念植樹(二十年二月末日)

十九年度の防災対策は、総合訓練九回(震災訓練含む)・部分訓練二十回実施した。十八年度につづき通報から初期消火までの訓練を重点的に実施した。また、震災による被害を軽減するための対応訓練を四回実施した。さらに冬季も避難訓練が必要との配慮で避難場所を屋内とし、二月に実施した。また、デイサービスセンター利用者対象の避難訓練を各曜日ごとに実施した。

施設管理

利用者にとって、安全で住み心地のよい施設であることを目指し、定期的に委託業者および職員による保守点検を実施した。

また、中長期修繕計画による、非常照明灯バッテリー交換工事・配管洗浄及び経年劣化による各種修繕工事を実施した。

その他利用者送迎用車両・調理器具等を購入した。

(1) 利用者送迎用車両・調理器具・ガラスヒート

(2) 非常照明灯バッテリー交換工事・配管洗浄・機械室モーターオーバーホール・ストレージタンク改修工事・檜風呂修理・空調機用温度調節機修理・機械室排気ファン修理・機械室ボイラー修理・四階電子錠交換工事等



高齢者の食中毒対策

近年、食中毒の発生状況は、ノロウイルスによる冬の発生もあり、通年で発生していますが、六、八月の発生が一番多い状況に変わりはありません。細めな手洗いが食中毒予防の基本です。併せて、「殺菌と菌を増やさない」実践をしましょう。

お弁当などを2回に分けて食べる時は、箸をつける前に取り分けて、ラップをして冷蔵庫に入れ、食べる前はもう一度加熱しましょう。

・常温放置の予防と殺菌

冷蔵庫に食品を詰め込まず、消費期限や賞味期限をまめに確認して、古くなった食品は捨てるなど、庫内を整理しましょう。

・冷気の循環確保と危険因子の除去

また、体力が落ちていたり方は、少量の菌でも食中毒になりやすい状態にあります。寿司や刺身は避け、加熱したものを食べましょう。

韓国から保健福祉関係者が来訪

六月十日、韓国 竜仁(ヨンイン)市役所の高齢者保健関係の皆さんが暖心苑の見学にいらつしやいました。通訳さんを含め十名の方々が見学され、質疑応答も活発に行われました。とても熱心でまじめな方ばかりで、大変好感がもてました。なぜ韓国から老人ホームの見学? と思われる方もいるかと思えます。韓国では今年七月、日本の介護保険を参考に韓国版介護保険制度がスタートしました。八年目にして日本の介護保険制度は曲がり角にあります。韓国の制度は始まったばかり。健全な発展を願うばかりです。



～ お知らせ ～

暖心苑のブログをオープンしました。苑の色々な行事やセミナー、出来事を日記形式で書き込んでいます。是非ご覧になっていただきたいと思います。皆様からのコメントの書き込みもできますので、ご意見を頂けると助かります。Yahooから「暖心苑ほのぼのブログ」で検索してみてください。

主 な 苑 内 行 事 の ご 案 内 (7月 ~ 9月)

7月24日(木).....納涼盆踊り大会

8月10日(日).....ビアホール

9月14日(日).....長寿を祝う集い『暖心苑まつり』



ひな祭り・ホーム喫茶



去る、3月3日 階ホールにて恒例のひな祭りホーム喫茶が行われました。会場内にひな壇を設置し、美味しそうなケーキをいろいろ取り揃えてとても多くの利用者様が参加されました。皆さま普段とは違った喫茶で楽しんでいただけたようです。ボランティアに来てくださった、在宅福祉グループの皆さまありがとうございました。



お花見

春めいて暖くなり、3月末から4月上旬にかけて、暖心苑近くの公園にお花見散策に出かけました。ご家族も参加され、年に一度の桜の開花に、利用者の皆様も笑顔が見られ、大変有意義なお花見となりました。



デイサービスより

去る6月18日 江戸川区小岩菖蒲園に出掛けました。天候にも恵まれ、車窓から見られる江戸川区の街並を眺めながら、懐かしの歌謡曲、クイズを楽しみました。園内を散策し、色鮮やかな菖蒲を見学し季節を感じて頂きました。

デイサービスでは、年6回の外出にくわえ今年新たに季節に合わせた車窓からのドライブを予定しています。また苑内では、縁日、忘年会を初め、デザート作り、アロマテラピー等のレクリエーションにも力を入れています。

今後もご利用者様に暖心苑での一日を楽しく過ごして頂ける様、企画盛りだくさんで皆様のご利用をお待ちしています。



ボランティアのお願い

暖心苑では、随時ボランティアをしてくださる方を募集しています。
現在、シーツ交換のボランティアさんを募集中ですが、その他の活動も募集しておりますので、お気軽にご連絡・ご相談下さい。 今後も、地域の皆様のご協力をお願い致します。

ボランティア様紹介



鈴木明美様（傾聴ボランティア）

初めは役に立っているのか不安になることもあったが、今は、自分自身も慣れて、話しをしていると、うれしかったことや、嫌だったことも分かるようになった。少しでも話しをきいてスッキリしてくれればと思っています。



野中麻美様（3階フロアーボランティア）

軽い気持ちで始めたボランティアですが、今は利用者の方とお話したり、お出かけしたりと楽しく充実した時間を過ごしています。これからも利用者の方がお元気で過ごせるようお手伝いしていきたいと思います。



東京医薬専門学校
の学生さんによる「メイク・
エステボランティア」



（ボランティア受入れ担当）

築場 信子（やなば）・本間 健一
電話 03（3877）0100

日本財団様の助成金により新型の送迎車両を購入しました

平成20年3月新車購入、旧送迎車両「ホーミー車」が老朽化のため、この度、日本財団様の助成金により、新しく購入することができました。
ご協力いただいた皆様に、心より感謝申し上げます。



（暖心苑玄関前にて）

通信欄

様のご家族へ 記入日： / 日

編集後記

本号は如何でしたか？これからも皆様楽しくご覧いただける誌面作りに努めてまいります。
これから夏本番となりますが、皆様お身体に気をつけお元気にお過ごし下さい。

社会福祉法人 東京清音会
特別養護老人ホーム 暖心苑
暖心苑デイサービスセンター
暖心苑さわやか相談室指定居宅介護支援事業所
地域包括支援センター暖心苑さわやか相談室
〒134-8625
東京都江戸川区北葛西4-3-16
TEL 03-3877-0100 FAX 03-3877-0188
TEL 03-3877-0181（さわやか相談室直通）
<http://www.k-ctec.net/dnsiren/>

利用者担当